

同 同 同 同
取 同 山 同 同
編 同 崎 任 監 常
役 支 橋 橋 任 查 查
支 配 久 橋 查 役 役
配 人 野 順 新 安 目
人 草 順 田 島 善
小 高 唯 一 安 島 善
野 野 一 野 島 善
晋 平 郎 郎 三 三
郎 郎 郎 郎

富田屋商店
油屋商店
高岡
忠松崎義隆片寄鶴治坂本文治
湯本町

植田町 山田屋旅館 草野村 鳥上精作 草野村 大木彌太郎 草野村 篠崎金之助 草野村 篠崎秋穂 草野村 豊田屋商店

磐城立憲新報

發行所 石城郡草野村小學校増築紹介號は紙面の都合上本號に掲載す (箱崎生)

嚴正批判特別選舉號

有權者諸君に急告

皆様を幸福に導くものは皆様の清き一票にあると思ひます。皆様の不幸は其の一票の使行如何に依つて決します。其の時皆様が過つて心にもなき投票を爲したる其の時に皆様が過つて心にもなき投票を爲したる其の時に皆様が過つて心にもなき投票を爲したる...

決算公告

貸借対照表
負債之部
資本 金五〇、〇〇〇、〇〇〇
諸積立金 七三、〇〇〇、〇〇〇
諸預り金 六六、〇〇〇、〇〇〇
未拂利息及未経過割引料 一三、〇〇〇、〇〇〇

磐越銀行

株主配當金(年七分) 八五二、五〇〇
後期繰越金 八八〇、〇〇〇
昭和三十二年壹月
取締役 中野 甲藏
専務取締役 小野 靜重
頭取 小野 嘉藏
取締役 小野 嘉藏
取締役 小野 嘉藏
取締役 小野 嘉藏

社告

石城郡草野村小學校増築紹介號は紙面の都合上本號に掲載す (箱崎生)

安島重三郎	小名濱町長 助役 鈴木 高木保
金成通	草野順平
小野晋平	高橋亀松
古川傳一	双葉郡新山町山田 中里蠶種製造所
佐々木善作	長塚村 御料理 日乃出
小濱長太郎	小名濱消防組頭 平町 山崎與三郎

衆議院議員にハスせん

各候補者が智慧袋を搾つて立案した

選舉民御氣嫌取りの宣言書

見よ！偽物本物大に味ふべき左の挨拶状

松本孫右衛門

第三區政友會公認候補者として、如何なる理由で倒れたか、亂脈なる財政計畫ある、別の言葉で言へば革

施政演説

勿論豫算の説明も待たず、政府不信任案を提出して一

不信任案

を提出するやうなことをせず十分問

斷然解散

を執行したの要するに賣られた喧嘩に對する餘議ない仕打ち

林業政策である、鐵道港灣等の交通政策である、漁業

工業上の便宜を

むる工夫もして居る同じ小部の團體一部の階級の爲め

都市團體

ある、放擲は不都合であるが、我れから進んで精一

自治体の

由に愉快に結果多くして國家の隆盛を圖ることが出来

政黨自体

か亦た然らなければならぬ、既成政黨が時勢に従つ

普通選舉

の第一年多數同志に依りて候補者

比佐昌平

1 不信任案の提出 第三區政友會公認候補

現内閣の

社會政策の徹しようとしても出来ない

4 小生の立候補

千萬國民を背景として現内閣の重大なる秋に當り不肖

2 不條理なる解散

現政府は、その失政を國民の前に曝露せらるゝこと

5 實行を要する政策の一端 小生の政見は、吾が黨が常



和洋銅鐵

確實敏捷は生命なり

釜屋商店

磐城平町

電話 一三九番

木村清治

第三區政友會公認候補

惟ふに國家内外の多事多難

營業報告

昭和二年十二月卅一日現在

號... 確實... 生命... 釜屋商店... 磐城平町... 電話... 番... 營業報告... 昭和二年十二月卅一日現在... 資本金... 負債... 純利益... 配當金... 昭和三年一月... 株式會社 磐城實業銀行

和洋銅鐵 金物問屋

確實... 生命... 釜屋商店... 磐城平町... 電話... 番... 營業報告... 昭和二年十二月卅一日現在... 資本金... 負債... 純利益... 配當金... 昭和三年一月... 株式會社 磐城實業銀行

釜屋商店

營業報告... 昭和二年十二月卅一日現在... 資本金... 負債... 純利益... 配當金... 昭和三年一月... 株式會社 磐城實業銀行

木村清治

第三區政友會公認候補... 惟ふに國家内外の多事多難... 昨年四月田中總裁大命を拜... 前内閣内外の失敗により國... 權國益の將に毀損せられん... 難を擁護し財界未曾有の大... 混亂に直面しては緩急按排... 野時代より一貫せる積極進... 取の國策を掲げ産立國の激... 大方針に則つて其大本を確... 弊を打破し地方行政制度の... 改革或は地租委譲自作農創... 定等の根幹を以て徐に地方... 分權の根幹を培ひ内には産... 業貿易の發達向上を助成し... 外には國際精神の協調と自... 主的態度とを嚴持して尙も... 國運の伸張と民福の増進に... 就ては施すべく爲すべきも... の一として其實現に努力せ... ざるなし之れ即ち國民に清... 新潑潑の生氣を興ふる所以... の途に外ならざるも反對黨... は事毎に驕傲な態度を以... て心事の公明正大なる我黨... の政策に反對し故に多數を... 持み其施設經營を阻止する... の情勢歴然として圓滿なる... 國務の遂行は到底之れを望... むべからざるに及び制限選... 舉掉尾の第五十四議會は解... 散を斷行せられ茲に吾人は... 光輝ある新選舉法の試練の... 前に信を國民に問ふに至れ

佐川潔

中立候補... 立候補の御挨拶... 惟ふに國家内外の多事多難... 昨年四月田中總裁大命を拜... 前内閣内外の失敗により國... 權國益の將に毀損せられん... 難を擁護し財界未曾有の大... 混亂に直面しては緩急按排... 野時代より一貫せる積極進... 取の國策を掲げ産立國の激... 大方針に則つて其大本を確... 弊を打破し地方行政制度の... 改革或は地租委譲自作農創... 定等の根幹を以て徐に地方... 分權の根幹を培ひ内には産... 業貿易の發達向上を助成し... 外には國際精神の協調と自... 主的態度とを嚴持して尙も... 國運の伸張と民福の増進に... 就ては施すべく爲すべきも... の一として其實現に努力せ... ざるなし之れ即ち國民に清... 新潑潑の生氣を興ふる所以... の途に外ならざるも反對黨... は事毎に驕傲な態度を以... て心事の公明正大なる我黨... の政策に反對し故に多數を... 持み其施設經營を阻止する... の情勢歴然として圓滿なる... 國務の遂行は到底之れを望... むべからざるに及び制限選... 舉掉尾の第五十四議會は解... 散を斷行せられ茲に吾人は... 光輝ある新選舉法の試練の... 前に信を國民に問ふに至れ

氏家清

第三區民政黨公認候補... 惟ふに國家内外の多事多難... 昨年四月田中總裁大命を拜... 前内閣内外の失敗により國... 權國益の將に毀損せられん... 難を擁護し財界未曾有の大... 混亂に直面しては緩急按排... 野時代より一貫せる積極進... 取の國策を掲げ産立國の激... 大方針に則つて其大本を確... 弊を打破し地方行政制度の... 改革或は地租委譲自作農創... 定等の根幹を以て徐に地方... 分權の根幹を培ひ内には産... 業貿易の發達向上を助成し... 外には國際精神の協調と自... 主的態度とを嚴持して尙も... 國運の伸張と民福の増進に... 就ては施すべく爲すべきも... の一として其實現に努力せ... ざるなし之れ即ち國民に清... 新潑潑の生氣を興ふる所以... の途に外ならざるも反對黨... は事毎に驕傲な態度を以... て心事の公明正大なる我黨... の政策に反對し故に多數を... 持み其施設經營を阻止する... の情勢歴然として圓滿なる... 國務の遂行は到底之れを望... むべからざるに及び制限選... 舉掉尾の第五十四議會は解... 散を斷行せられ茲に吾人は... 光輝ある新選舉法の試練の... 前に信を國民に問ふに至れ

田人村

惟ふに國家内外の多事多難... 昨年四月田中總裁大命を拜... 前内閣内外の失敗により國... 權國益の將に毀損せられん... 難を擁護し財界未曾有の大... 混亂に直面しては緩急按排... 野時代より一貫せる積極進... 取の國策を掲げ産立國の激... 大方針に則つて其大本を確... 弊を打破し地方行政制度の... 改革或は地租委譲自作農創... 定等の根幹を以て徐に地方... 分權の根幹を培ひ内には産... 業貿易の發達向上を助成し... 外には國際精神の協調と自... 主的態度とを嚴持して尙も... 國運の伸張と民福の増進に... 就ては施すべく爲すべきも... の一として其實現に努力せ... ざるなし之れ即ち國民に清... 新潑潑の生氣を興ふる所以... の途に外ならざるも反對黨... は事毎に驕傲な態度を以... て心事の公明正大なる我黨... の政策に反對し故に多數を... 持み其施設經營を阻止する... の情勢歴然として圓滿なる... 國務の遂行は到底之れを望... むべからざるに及び制限選... 舉掉尾の第五十四議會は解... 散を斷行せられ茲に吾人は... 光輝ある新選舉法の試練の... 前に信を國民に問ふに至れ

蛭田源縁

惟ふに國家内外の多事多難... 昨年四月田中總裁大命を拜... 前内閣内外の失敗により國... 權國益の將に毀損せられん... 難を擁護し財界未曾有の大... 混亂に直面しては緩急按排... 野時代より一貫せる積極進... 取の國策を掲げ産立國の激... 大方針に則つて其大本を確... 弊を打破し地方行政制度の... 改革或は地租委譲自作農創... 定等の根幹を以て徐に地方... 分權の根幹を培ひ内には産... 業貿易の發達向上を助成し... 外には國際精神の協調と自... 主的態度とを嚴持して尙も... 國運の伸張と民福の増進に... 就ては施すべく爲すべきも... の一として其實現に努力せ... ざるなし之れ即ち國民に清... 新潑潑の生氣を興ふる所以... の途に外ならざるも反對黨... は事毎に驕傲な態度を以... て心事の公明正大なる我黨... の政策に反對し故に多數を... 持み其施設經營を阻止する... の情勢歴然として圓滿なる... 國務の遂行は到底之れを望... むべからざるに及び制限選... 舉掉尾の第五十四議會は解... 散を斷行せられ茲に吾人は... 光輝ある新選舉法の試練の... 前に信を國民に問ふに至れ

植田町

惟ふに國家内外の多事多難... 昨年四月田中總裁大命を拜... 前内閣内外の失敗により國... 權國益の將に毀損せられん... 難を擁護し財界未曾有の大... 混亂に直面しては緩急按排... 野時代より一貫せる積極進... 取の國策を掲げ産立國の激... 大方針に則つて其大本を確... 弊を打破し地方行政制度の... 改革或は地租委譲自作農創... 定等の根幹を以て徐に地方... 分權の根幹を培ひ内には産... 業貿易の發達向上を助成し... 外には國際精神の協調と自... 主的態度とを嚴持して尙も... 國運の伸張と民福の増進に... 就ては施すべく爲すべきも... の一として其實現に努力せ... ざるなし之れ即ち國民に清... 新潑潑の生氣を興ふる所以... の途に外ならざるも反對黨... は事毎に驕傲な態度を以... て心事の公明正大なる我黨... の政策に反對し故に多數を... 持み其施設經營を阻止する... の情勢歴然として圓滿なる... 國務の遂行は到底之れを望... むべからざるに及び制限選... 舉掉尾の第五十四議會は解... 散を斷行せられ茲に吾人は... 光輝ある新選舉法の試練の... 前に信を國民に問ふに至れ

鳥由

惟ふに國家内外の多事多難... 昨年四月田中總裁大命を拜... 前内閣内外の失敗により國... 權國益の將に毀損せられん... 難を擁護し財界未曾有の大... 混亂に直面しては緩急按排... 野時代より一貫せる積極進... 取の國策を掲げ産立國の激... 大方針に則つて其大本を確... 弊を打破し地方行政制度の... 改革或は地租委譲自作農創... 定等の根幹を以て徐に地方... 分權の根幹を培ひ内には産... 業貿易の發達向上を助成し... 外には國際精神の協調と自... 主的態度とを嚴持して尙も... 國運の伸張と民福の増進に... 就ては施すべく爲すべきも... の一として其實現に努力せ... ざるなし之れ即ち國民に清... 新潑潑の生氣を興ふる所以... の途に外ならざるも反對黨... は事毎に驕傲な態度を以... て心事の公明正大なる我黨... の政策に反對し故に多數を... 持み其施設經營を阻止する... の情勢歴然として圓滿なる... 國務の遂行は到底之れを望... むべからざるに及び制限選... 舉掉尾の第五十四議會は解... 散を斷行せられ茲に吾人は... 光輝ある新選舉法の試練の... 前に信を國民に問ふに至れ

惟ふに國家内外の多事多難... 昨年四月田中總裁大命を拜... 前内閣内外の失敗により國... 權國益の將に毀損せられん... 難を擁護し財界未曾有の大... 混亂に直面しては緩急按排... 野時代より一貫せる積極進... 取の國策を掲げ産立國の激... 大方針に則つて其大本を確... 弊を打破し地方行政制度の... 改革或は地租委譲自作農創... 定等の根幹を以て徐に地方... 分權の根幹を培ひ内には産... 業貿易の發達向上を助成し... 外には國際精神の協調と自... 主的態度とを嚴持して尙も... 國運の伸張と民福の増進に... 就ては施すべく爲すべきも... の一として其實現に努力せ... ざるなし之れ即ち國民に清... 新潑潑の生氣を興ふる所以... の途に外ならざるも反對黨... は事毎に驕傲な態度を以... て心事の公明正大なる我黨... の政策に反對し故に多數を... 持み其施設經營を阻止する... の情勢歴然として圓滿なる... 國務の遂行は到底之れを望... むべからざるに及び制限選... 舉掉尾の第五十四議會は解... 散を斷行せられ茲に吾人は... 光輝ある新選舉法の試練の... 前に信を國民に問ふに至れ

惟ふに國家内外の多事多難... 昨年四月田中總裁大命を拜... 前内閣内外の失敗により國... 權國益の將に毀損せられん... 難を擁護し財界未曾有の大... 混亂に直面しては緩急按排... 野時代より一貫せる積極進... 取の國策を掲げ産立國の激... 大方針に則つて其大本を確... 弊を打破し地方行政制度の... 改革或は地租委譲自作農創... 定等の根幹を以て徐に地方... 分權の根幹を培ひ内には産... 業貿易の發達向上を助成し... 外には國際精神の協調と自... 主的態度とを嚴持して尙も... 國運の伸張と民福の増進に... 就ては施すべく爲すべきも... の一として其實現に努力せ... ざるなし之れ即ち國民に清... 新潑潑の生氣を興ふる所以... の途に外ならざるも反對黨... は事毎に驕傲な態度を以... て心事の公明正大なる我黨... の政策に反對し故に多數を... 持み其施設經營を阻止する... の情勢歴然として圓滿なる... 國務の遂行は到底之れを望... むべからざるに及び制限選... 舉掉尾の第五十四議會は解... 散を斷行せられ茲に吾人は... 光輝ある新選舉法の試練の... 前に信を國民に問ふに至れ

第六十期營業報告

昭和二年十二月卅一日現在

Table with financial data for 磐城銀行 (Iwaki Bank), including assets, liabilities, and capital.

株式平銀行

第六拾參期營業報告

Table with financial data for 株式平銀行 (Iwaki Bank), including assets, liabilities, and capital.

Main table listing names and titles of various individuals, including village heads, council members, and shop owners.

山田屋旅館

馬場上精作

大木彌太郎

篠崎金之助

篠崎秋穂

豊田屋商店

Vertical text on the far left edge, possibly a title or address.

Vertical text block, likely a notice or advertisement.

Vertical text block, likely a notice or advertisement.

Vertical text block, likely a notice or advertisement.

Vertical text block, likely a notice or advertisement.

Vertical text block, likely a notice or advertisement.

社告

Notice text regarding a school building introduction.